

子育て世代交流施設の愛称がきました！

先月号の広報で募集していた子育て世代交流施設の愛称ですが、ご応募があった中から、「from ☆ Moko」に決定しました。

「Moko」は、「Moseushi」「kodomo」の頭文字をつなぎ合わせてできた造語で、「from」には「この施設から子どもたちが成長して行ってほしい」との思いが込められています。たくさんのご応募ありがとうございました。

モ一突進レポート

翔 SHOW TIME たいむ vol.29



今回の翔たいむでは、「子育て世代交流施設」で壁にしっかりと塗る作業を子どもたちと参加してきました。

12月にオープンを控えている子育て世代交流施設「from ☆ Moko」。

施設の内壁にしっかりと塗る作業を町内に住む乳幼児、小学生と母親たち約20名の親子が体験しました。

この日参加したのは、保健センターを拠点に活動する青空自主保育「うちのみ」の親子。

この体験の企画は、「子どもたちの思い出になれば」と夏井坂組の夏井坂聡社長の提案により実現し、僕も参加させていただきました。

夏井坂組の職人さんたちが、一人ひとりが持っているパレットにしっかりと配ってくれると塗装作業スタート。塗り方は自由で、子どもたちは楽しそうに作業していました。

その一方、僕はというと、なんとかきれいに塗ろうと必死でした。使い慣れ



子育て世代交流施設で しっかりと塗り作業



ない道具でむらなく塗ろうと頑張りましたがなかなかうまくいかず...

子どもたちが自由に楽しく作業している姿を見て僕も格好付けずに楽しもうと決心し、子どもたちのように道具を使わず

に素手で壁に塗りつけました。

作業が終わると最後はみんな得手形を付けて体験は終了。

子どもたちにとって、この作業自体が楽しい思い出かもしれないが、10年くらい経ったときに「自分たちが育った施設づくりに自分たちが関わったんだ」と気づかされる日が来ると思うと感慨深いです。ちなみに僕の手形も付けたので施設を訪れた方は探してみてください。



僕も一緒に手形を付けました

は探してみてください。

ふるさとチョイス応援感謝祭に妹背牛町が参加



め3人の職員が参加。最初は役場庁舎内から3人で中継を行い、令和2年

ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」を運営するトラスティバンクが主催する「ふるさとチョイス大感謝祭」に妹背牛町が参加しました。

大感謝祭は、自治体職員や地元生産者らが寄附者に感謝の気持ちを伝えることをコンセプトに開催。昨年からは新型コロナウイルス感染症拡大の防止のためオンラインで開催し、今回は11月13日から14日の二日間にかけて行われました。



ちよこつと 翔たいむ SHOW TIME

度の寄附結果や寄附金の使い道などを紹介。妹背牛町の紹介動画や12月からオープンする「子育て世代交流施設」で撮影した動画なども公開されました。また、カーリングホールからの中継では、当日行われていたカーリング大会の様子も映し出され、特産品のお菓子やお米などを美食する「もぐもぐタイム」も実施。

僕はレポーターを担い、なかなか台本通りにはいきませんが、自分なりにアドリブを交えてなんとか乗り越えることができました。

打合せの時は音声をうまく拾えなかったり、画面にうまく発表資料が映らなかったりとトラブルもありましたが、本番は大きなトラブルもなく進めることができて良かったです。

視聴していただいた皆さんには妹背牛町の魅力が伝わり、少しでも寄附して良かったと思ってもらえたらなと思います。



もぐもぐタイムの様子

11/12

税を考える書道コンクール授賞式



毎年11月11日から11月17日を「税を考える週間」とし、国税局を中心として税に関する行事が行われています。

妹背牛町では今年も書道コンクールを開催し、妹背牛中学校の生徒6名が入賞。妹背牛商工会赤藤敏仁会長ら審査委員が来校し校長室で表彰式が行われました。

作品は妹背牛温泉ペペルに掲示されています。

受賞者は下記のとおりです。

佳作	銅賞	銀賞	金賞
加藤 周歩 かとう しゅうほ	下郷 新菜 しもごう にいな	河森 絢音 かわもり あやね	徳本 瑛臣 とくもと えいしん
		田中 翔磨 たなか しょうま	中易 絢 なかやす けん